

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	水産振興課(水産振興担当)		
事務事業名	外来漁船誘致経済効果誘発促進事業	事業番号	12569
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-4 水産食品製造業の振興
	施策目標	豊かな水産資源を活かした水産食品製造業が盛んなまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	外来漁船員
	対象者の今後の予想	増加傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①新たに漁船を造船し、入港予定のある船主に対し、市理事者及び漁協において「トップセールス」として誘致活動を展開し、入港隻数の増加を図っている。 ②外来漁船員限定の「市内銭湯無料入浴券」「市内お食事サービス券」「根室水産協会朝食券」を綴りこんだ入港歓迎リーフレットを配布し、市街地への誘引し、地域経済の活性化を図っている。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	新規外来漁船を誘致することで、当市への水揚げの増加はもとより、外来漁船員による交流人口の拡大が図られ、地域経済の活性化への寄与が期待される。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 新規外来漁船入港隻数	2隻	3隻	2隻	4隻	3隻	37隻	10隻	20隻
2 無料入浴券	1,000枚	996枚	623枚	364枚	2,162枚	2,770枚	1,100枚	1,200枚
3 ワンドリンクサービス利用券	50枚	22枚	65枚	-	-	-	100枚	100枚
4 市内お食事サービス利用券	-	-	-	80枚	164枚	634枚	200枚	300枚
5 根室水産協会朝食利用券	-	-	-	-	97枚	432枚	150枚	200枚
事業費(=下記内訳計)		R1予算		R1決算		R2予算		
		15,913		15,913		22,338		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	15,555		15,555		22,338		
	一般財源	358		358		0		
人員(人工)		1.00		1.00		1.00		
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)		7,693		7,693		7,693		
総事業費(=事業費+職員人件費)		23,606		23,606		30,031		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		638		638				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		9		9				
単位コスト実績値 3(=総事業費÷成果実績値)								
単位コスト実績値 4(=総事業費÷成果実績値)		37		37				
単位コスト実績値 5(=総事業費÷成果実績値)		55		55				

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	①平成29年度より、これまで利用実績の乏しかった「ワンドリンクサービス券」を「お食事サービス券」に拡充。 ②平成30年度より、これまで漁船員から好評であった「銭湯無料入浴券」の配布枚数を1枚から3枚に拡充。 ③平成30年度より、早朝に水揚げを行った漁船員の福利厚生を向上させるため、根室水産協会における朝食券を配布。
今後の動向・市民ニーズなど	サケマス流し網漁業禁止による影響や、近年の主要魚種の不漁などから、当市における水揚げが減少傾向に見舞われる中、外来漁船に一定程度の水揚げが行われることは、水産加工をはじめ関連産業への原魚確保の観点からもニーズは極めて高い。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	全国的に水揚げが減少傾向を辿る中、当市においては、外来漁船の入港により一定程度水揚げが確保されていることに加え、外来漁船員に配布している各種サービス券の利用状況も軒並み増加しており、市内銭湯はもとより、飲食店からも大変好評化を頂いており、地域経済活性化に寄与しているものと判断する。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 根室市内全体に波及する事業であることから、従来通り、市が先頭に立ち実施すべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 外来漁船員及び市内銭湯、飲食店等からも好評な事業となっており、今後も同様の内容で事業を展開すべきである。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 現状ではない。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 現状ではない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 既に、加盟団体から負担金を徴している。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	水産加工振興センター(水産加工振興センター担当)				
事務事業名	沿岸漁業資源利活用研究開発事業(加工流通)	事業番号	12679		
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-4 水産食品製造業の振興
	施策目標	豊かな水産資源を活かした水産食品製造業が盛んなまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内水産加工企業、市内漁業協同組合
	対象者の今後の予想	増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①沿岸漁業資源や低・未利用魚種を活用した付加価値の高い商品と利活用技術の開発活動 ②非破壊型脂質測定技術を活用した根室産水産物の付加価値向上と地元漁業者・漁協によるブランド化に向けた取組みの支援	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	沿岸漁業資源や低・未利用魚種を活用した付加価値の高い商品開発と地元漁業者・漁協による地域特産魚種のブランド化の推進による商品化が実現することにより、新たな市場開拓・拡大が期待できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 水産加工食品の試作品件数	-	-	-	3件	5件	6件	5件	7件
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R1予算		R1決算	R2予算	
内訳	国道支出金			※再掲(事業費は5-2で計上)				
	地方債							
	その他							
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費 (=人員(人工) × 7,693 千円)								
総事業費(=事業費+職員人件費)								
単位コスト実績値 1 (=総事業費 ÷ 成果実績値)								
単位コスト実績値 2 (=総事業費 ÷ 成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	市内水産加工企業や地元漁業者・漁協による商品化実現に向けて、技術移転手法と合わせて、販路開拓の取組みを視野に入れた事業者連携の強化が必要である。
今後の動向・市民ニーズなど	沿岸漁業資源や低・未利用魚種を活用した付加価値の高い商品開発と地元漁業者・漁協による地域特産魚種のブランド化の推進による商品化が実現することにより、新たな市場開拓・拡大が可能となるため、市内水産加工業界や漁協関係からのニーズはある。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	開発された商品や加工技術について、市内水産加工業者及び地元漁協等に対しての技術指導・支援による商品開発とブランド化に向けた活動を推進するとともに、研究成果については、市内水産加工業者や地元漁協等に対して情報提供と技術移転を図り、連携強化にも努めている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 市内水産加工業者に対する商品開発力及び加工技術力向上のための支援事業であり、市が主体的に実施すべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 市内水産加工業者による商品開発力向上及び商品化実現に向けての情報提供と技術移転の手法の検討が必要にある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 各種補助・助成事業の活用を検討。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 根室市沿岸資源利活用ビジョンに基づいて事業を実施しているが、ビジョンの取組み方針に合致していれば、他の事業を統合することも考えられる。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 技術開発及び技術移転の段階、商品化実現に向けた連携段階にあるため、現状では受益者負担は困難である。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月